

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第271号

発行日 2024年7月1日発行

2024年度「かがやきカンパニー大賞」受賞

皆さんこんにちは、社長の近藤です。6月11日に「かがやきカンパニー大賞」を受賞することができました。名誉ある受賞と共に、副賞として30万円もいただくことができ、大変嬉しく思っております。

この「かがやきカンパニー大賞」は、石川県経営者協会が主催されている企画です。具体的には、各企業での取り組みをプレゼンし、その取り組みが、従業員の労務改善、障害者や高齢者の雇用など、他社の模範となる職場環境の改善に繋がっていると評価をされた場合に、表彰されるというものです。

さらに、昨年からは、ホップ・ステップ・ジャンプの3つのカテゴリーで表彰が行われるようになり、ホップ企業に認定されると、次にステップ企業へとチャレンジできるという体制になりました。当社は初のチャレンジでしたので、ホップ企業へ挑戦し認定をしていただいたということになります。

選考基準にある取り組みとして当社は「元気手当」についてプレゼンをさせていただき、付随する健康経営の取り組みも紹介させていただきました。

「元気手当」とは、健康診断の結果や病欠の日数などをもとに、健康だと認めた人に対して、4段階の基準をもとに表彰する制度です。

最上位ランクの「超健康手当」は36,000円となり、過去5年間でまだ4人しか該当者がいません。

そしてこの元気手当を運用して何よりも嬉しいことが、社員一人ひとりの健康に対する意識が強くなったことです。

どこの会社でも行っている健康診断ですが「義務感でただ行っている」だけではもったいないと思います。そんな健康診断をより価値のあるものに変えていく時に、この元気手当はオススメなのです。

元気手当を導入した後は、健康診断後に自己採点をする社員が多くなりましたし、元気手当で獲得した賞金をランニングシューズに投資し、金沢マラソンに挑戦した人もいます。社員が元気であれば、本人はもちろん家族もそして会社もみんながハッピーになります。もし当社の取り組みに興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

またかがやきカンパニー大賞では、まだステップ企業の該当企業がない（今年も3社が挑戦したが認定されず）ということで、来年はぜひ当社も挑戦したいと思っております。





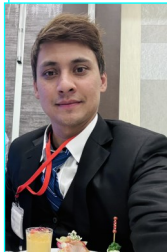
キラリと光る存在に



●今月の出番

千葉営業所
ダカル ビカシュ さん

皆さん、こんにちは。まずは自己紹介をさせていただきます。私の名前はダカル ビカシュです。ネパール出身で、経営学修士号を取得しています。趣味はサッカーやバスケットボールなどのスポーツをしたり観戦し



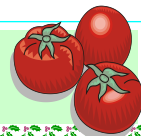
たりすることです。他の趣味は旅行とコメディ映画を見ることです。2014年に学生として日本に来ました。それ以来、日本にいるときはいつも楽しいです。そして2017年から働き始めました。これまでさまざまな会社で働いてきました。2023年11月1日に会宝産業に入社しました。会宝産業に入社した大きな理由の一つに、中古車のリサイクルと再資源化による環境浄化という



事業・目的があり、これに携わりたいと思ったからです。自動車業界が大好きなので、会宝産業の一員になれて嬉しいです。この会社のみんなは本当にフレンドリーで最高です。仕事で何か問題があれば、いつも私を励ましてくれます。皆さん、ありがとうございました。良い一日をお過ごしください。

※写真：真ん中です

農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。6月中旬までは例年より涼しい風が吹いており、幾分過ごしやすかったように感じます。後半はいつも通り暑い日が続き、梅雨入りしたことで雨も多くなったように思います。

6月、トマトは引き続き収穫・出荷をしており、ご好評をいただいております。こちらは6月末までの収穫予定でしたが、一部を7月中旬まで引き延ばし、高温下での収穫ができるか、味はどうかの試験をします。

春植え野菜も成長し、随時栽培管理を実施。すでに収穫できているものとして、キュウリ・ズッキーニ・ゴーヤ・ナス・ピーマンがあり、7月からはスイカ・かぼちゃも収穫予定です。

今年は露地でのトマト栽培も試験的に実施しており、栽培のやり方や食味を検証します。露地では6月初旬に玉ねぎとニンニクを収穫。こちらは収穫後に畑で2、3日乾燥させてから、小屋の軒下、車庫内にてさらに乾燥させます。これをしないと腐りやすくなり、保存ができないためです。こちらも長期間での出荷を予定しております。

7月は例年気温が高く、特にハウス内で栽培している野菜、作業をする人にも厳しい季節となります。主な作業は春植え野菜の収穫と管理、トマト栽培後のリセットと定植準備です。いつも以上に野菜にも人にも気を配り、健康的に過ごすことができるようにしていきます。（担当：畠中）



リサイクルされる車の廃オイルを回収・精製し、当社の無農薬温室栽培用のボイラー燃料として再利用しています。



会宝農園の野菜はこちらのサイトからご購入いただけます。ぜひご覧ください。

温度10～12度
農薬不使用で
安心・安全

宝達志水町
羽咋市
会宝農園

Eid Mubarak ! Kaiho Middle Eastの豊谷です。6月およそ1ヵ月間は宗教行事によって多くのお客様が休暇をとり母国に帰省してしまうため、オークションはお休みをいただきました。イスラム教の宗教行事Eidは、1年に2回（イード・アル・フィトルとイード・アル・アドハ）あります。イスラム暦における重要な日であり、世界中のイスラム教徒が祝います。「断食の終わりの祭り」という意味のイード・アル・フィトルはラマダンの終わりを告げます。イード・アル＝アドハは、神アッラーへの信仰を示すために奨励されている行事です。この犠牲祭の月、イスラム教の義務であるメッカへの巡礼が行われ、締めくくりとして最終日に犠牲祭用の動物（牛や羊）を屠ることが奨励されます。イスラム教徒は一生に一度、ハッジ(聖地メッカ)へ赴くことが義務とされていますが、すでに巡礼に行った人、また時間的にまたは経済的に余裕がない人は、犠牲祭の前日に断食することや、犠牲祭用の動物（牛や羊）を屠ることが奨励されるそうです。ということで、今年も会社の皆さんで、犠牲祭の前日に牛を捌いて、Eid Mubarakと一緒に祝いをしてきました！

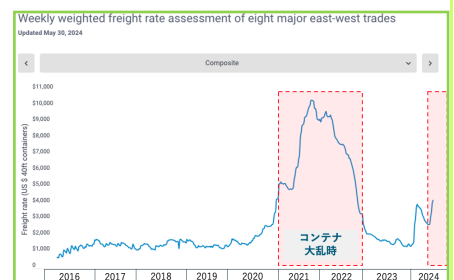


輸出最新情報

【 コンテナ海上運賃高騰の理由 】

現在、コンテナ運賃が再び高騰しています。チャートを見ると、コンテナ大乱前あたりまで運賃が下がった後、急激に再上昇しようとしています。背景にはパナマ運河問題、スエズ運河問題、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ハマス問題、気候変動、米中貿易戦争、米国金利など複合的な要素が影響しています。特に注目すべきは、中国からの出荷急増です。中国からの輸送需要が高まり、運賃が上昇しても出荷が続いています。このため、各輸送業者は中国荷主を優先し、日本荷主が不利な状況に陥っています。当社のお客様からも高騰する海上運賃やブッキングの取りにくさが報告されています。これらの背景には、G7からの批判を受けた過剰生産による大量輸出の動きが見られます。

●今後の見通し● コンテナ大乱時（2020/12～）の推移を分析すると、7月から8月にかけてオフシーズンのため一時的に運賃が落ち着くと予想されます。9月以降はアメリカのクリスマス商戦や日本の決算期の影響で輸送が増え、再び上昇する可能性が高いと予想されます。そのため、中古自動車部品業社の中でも、6月は買い控えが増え、7月、8月に出荷時期をずらして運賃の一時的な低下を利用し、コストを抑える動きが予想されます。（担当：橋本）



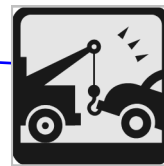
今月のパチリ

こんにちは。毎年恒例の「会宝リサイくるまつり」。今年も8月3日に開催します。今年のテーマは「みんなでつなぐ未来へのバトン」です。能登半島地震からの復興と、環境をよくすることで今より明るい未来を作る、そんな思いを込めて様々な企画を実施します。「リサイくるまつりと言えば解体ショー」と言われるくらい大人気のくるま解体ショー、夏休みの工作の宿題にぴったりのリサイクル教室、環境について遊んで学べる縁日など、今年も盛りだくさんの内容を企画しています。みなさまのご来場を心よりお待ちしております！（担当：川村）

第12回会宝リサイくるまつり 日時：8月3日（土）9：00-16：00
場所：会宝産業株式会社 本社（金沢市東蚊爪町1-25）



相場情報 ~生産部より~



2024年 6月 見込み台数

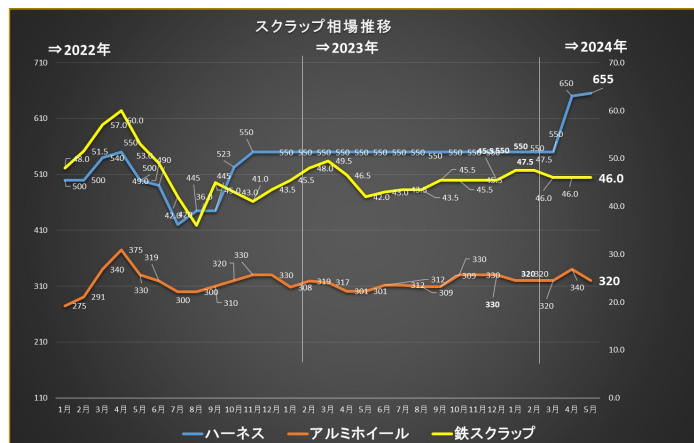
入庫台数 800台

処理台数 750台

こんにちは、会宝産業の山口です。本格的な夏を感じる季節になってきましたね。

さて、相場はと言うと・・・鉄、非鉄ともに下降の兆しが見え始めましたね。特に高騰が続き、原料が「高すぎる」アルミは海外での建値も落ち着き、市場ではモノが少ないにも関わらず下落基調となりました。

銅に関しては中国の需要が更に落ち込み、市場の在庫も増えてきています。現在は横ばいで推移していますが、こちらも下落を懸念する声をよく耳にします。相場が上がりすぎた感が否めないこの非鉄2種ですが、地下資源の枯渇が予測される中で貴重な金属になりつつもあります。何れにしても、これらの資源を大切に扱っていく事が我々の使命だと感じています。



今月のピックアップ

~ 新人プレゼン大会 ~

6月14日に、新人プレゼン大会を行いました。対象者は、昨年の4月以降に入社した社員8名でしたが、3つのチームに分かれてプレゼンをしてもらいました。どのようなプレゼンかというところ・・・

学生役をする役員の前でプレゼンです。4月の新人研修時にこれを伝えると、みんな「え〜〜」とビックリです。でもそこから約2ヶ月半の間、チームでプレゼン内容を考え準備をして、当日は素晴らしいプレゼン発表となりました。

ちなみに、このプレゼン大会では1つだけルールがあります。それは、PowerPointの使用禁止です。つまりパソコンを使った資料作成が禁止だということです。なぜ禁止なのかというと、チームの格差をなくし、小手先のテクニックには頼れない状況をつくるためです。このようにチームで協力して頭を悩ませ、伝える



(優勝チームの2名を真ん中に記念撮影)

る目的や伝え方や、ストーリー設計により目を向けるもらうことで、理解が深まっていきます。そして、仲間がいれば、役員の前でのプレゼンでも頑張れるものなのです。さらに、自分の会社の理解が深まると、自分の会社を誇らしく感じ、仕事が楽しくなるのです。(担当：佐藤)

会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram



お知らせ：4月から1ページ目の会宝通信の英名を「Kaiho journal」に変更いたしました。

ご意見ご要望はこちらまで → TEL 076-237-5133 soumu@kaiho.co.jp (担当：宮村)